

第36号

スポーツ推進委員だより

宮崎市スポーツ推進委員協議会



第1回スポーツ推進委員自主研修会

7月4日(土) 上野自治公民館

7月5日(日) 宮崎西部地区農村環境改善センター

～新人さんから1日目の感想～

今年度、推進委員に仲間入りしての初研修。自己紹介に始まり、推進委員の意義、役割、組織の説明など、これから自分が活動していくための基本的なことを学びました。途中、まさかのダブルブッキングという事件も起こりましたが、充実した研修を受けることができました。また、先輩推進委員の皆さんは、とても明るく元気で、緊張気味の私も楽しい時間を過ごすことができました。

これからの自分の役割を考えると、不安ではありますが、他の推進委員の皆さんと一緒に協力しながら、宮崎市のスポーツ推進に努めていきたいと思えます。そのために、これから開催される研修には積極的に参加し、推進委員としての知識を増やしていければと思います。(憶地区 岩本由香里)



2日目は、ビーチボールバレーの研修を行いました。大会を始めて4年経ちますが、市民の間に定着するには私たちがしっかり理解して、指導できるようになることが一番の近道です。この研修では、大まかなルールの説明を受けた後、実際にゲームと審判を体験しました。皆さん審判ができるようになりましたか。体験後には、プレー中疑問に思ったことや、ルール修正すべき点などの発表がありました。ネット際の攻防など課題の残った点はありませんでしたが、皆さんが積極的に関わろうとしている姿勢に感動しました。

私たちが、細かなルールや大会要項などをしっかり読み込んで、積極的に地域の方々に働きかけ、子どもから高齢者まで楽しんでもらえる生涯スポーツになるよう努力していきましょう。(広報部 栗原和幸)



第18回地区対抗ミニバレーボール大会

8月23日(日) 北部記念体育館・宮崎西交流センター

予選を勝ち抜いた77チーム、約390名が集まり、熱戦を繰り広げました。

会場が、北部記念体育館と宮崎西地区交流センターの2ヶ所に分かれたため、運営スタッフの配置や応援等不安はありましたが、特に問題なくスムーズな大会運営だったと思います。昨年度より6チーム増え、今まで地域活動に興味を示さなかった方たちが、少しずつ参加されるようになったと聞き嬉しく思います。成績も大事ですが、参加することで地域の絆が深まり、スポーツを通して“体力づくり・仲間づくり”ができていくといいですね。

(広報部 山元美保)



優勝チーム

39才以下女子 大塚下区(大塚)

40歳以上女子 下倉(高岡)

39才以下男子 旭通り(中央)

40歳以上男子 古川(赤江)

60才以上混成 上野(瓜生野)

第1回県スポ推研修会兼初任者研修会

8月9日(日) KIRISHIMAツワブキ武道館

～新人さんからの感想～

初任者研修に参加して、私にとっての一番の収穫は“元気高齢者のための運動支援講座”でした。実生活で認知症の義母を介護する家族として『熱中症対策』や『転倒・介護予防の運動』は「なるほどね!」とヒントを感じる内容でした。身近に何かを感じる事が、次の何かにつながる一歩なのかもしれないと思った研修会でした。初心者マークの一年生。まずは経験を重ねてまいりますので、ご指導よろしく願いいたします。(佐土原地区 富永美加)



生涯スポーツ推進グローアップ研修会

7月12日(日) KIRISHIMAツワブキ武道館

8月30日(日) 延岡中小企業振興センター

「スポーツの新しい動向とスポーツ推進委員の役割」と題し、大分県スポーツ推進委員協議会会長土谷忠昭様の講義がありました。

スポーツを巡る国内外の動向では、日本と海外のスポーツに対する見解の違いに驚きました。そして、日本でも時代とともにスポーツに対する考え方に変動があり、現在では『スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利である』と規定されています。

スポーツ推進委員は、今までのインストラクター(スポーツの実技指導)、アドバイザー(スポーツに関する指導助言)に加え、コーディネーター(地域のスポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整)としての役割が大切。また、健康のためにスポーツをするのではなく、スポーツをして結果的に健康になるのが理想。そのためにも私たち推進委員は、自身のレベルアップと、多くの地域住民にスポーツのすばらしさを伝えることが使命だと感じました。(広報部 長友ひとみ)

スポーツボランティアセミナー **※※※※※** 10月3日(土) 県総合運動公園合宿所

スポーツ推進委員10名の他、総合型スポーツクラブや大学生、高校生、総勢21名の参加がありました。最初に「スポーツボランティアの意義と役割」と題し、九州保健福祉大学の立木宏樹准教授の講義がありました。仕方なくとか嫌々するのはボランティアではない。スポーツボランティアとは、『報酬を目的としないで、自分の労力、技術、時間を提供して地域社会や個人、団体のスポーツ推進のために行う活動』を意味する。誰かを助けるつもりでボランティアだったが、逆に助けられたり、元気をもらったり、何だか自分が成長した。(自己形成、自己実現に繋がっている。)これがボランティアの不思議な魅力。

次に「スポーツボランティアの実際」と題し、宮崎県車椅子バスケットボール連盟より3名の講師の講話がありました。ボランティアを続けていくコツは『自分の活動に誇りを持つ・心から楽しむ』最初のうちは大変に感じるが、積極的に色んな人と交流をすることにより知り合いができるとう活動が楽しくなってくる。しかし、毎年行われている“24時間マラソン車椅子バスケットボール競技大会”でも情報不足、人の不足(指導者・ボランティア・選手)など運営していく上で問題は山積み。一度体験して、魅力を感じて欲しいとのことでした。(広報部 長友ひとみ)



宮崎公立大スポーツ推進委員委嘱式 **※※※※※** 10月20日(火) 宮崎市役所

宮崎市は、学生(若者)の持つ新しい発想と行動力等をスポーツ分野での社会貢献活動に活用するため、宮崎公立大学の学生14名をスポーツ推進委員として委嘱しました。任期は10月～2017年9月末の2年間です。大学と連携した学生への委嘱は初めて。若い世代が少ない推進委員にとって、新しい道を切り開く切り札となってくれることでしょう。



倉岡地区の活動紹介

倉岡地区体育会は、会長、副会長、会計、事務局長、総務の5名が本部役員として活動し、その中にスポーツ推進委員3名が含まれています。各地区の体育部長8名が実行委員となり中心に各行事をこなしています。2年に一度実施される運動会は全地区約1,000人程度が参加します。

盛り上がるミニバレー大会



ラジオ体操も頑張っています



今後の予定



- 11月28日(土)～29日(日)・・・第55回宮崎県スポーツ推進委員研究大会：西都市
- 12月13日(日)・・・第29回青島太平洋マラソン大会：宮崎県総合運動公園(協力事業)
- 1月11日(月)・・・第6回宮崎県市町村対抗駅伝大会：宮崎県庁前スタート(協力事業)
- 1月17日(日)・・・第32回地区対抗駅伝大会：生目の杜周回コース
- 1月30日(土)～31日(日)・・・第58回九州地区スポーツ推進委員研究大会：長崎県
- 2月21日(日)・・・第2回宮崎県スポーツ推進委員研修会：県武道館
- 2月28日(日)・・・第1回地区交流ニュースポーツ大会：北部記念体育館
- 3月12日(土)・・・第14回地区対抗グラウンドゴルフ大会：生目の杜多目的広場



広報スタッフ：部長：長友ひとみ(江平) 副部長：山元美保(檉) 安藤定美(佐土原)

本部伴典(檉)、坂元孝夫(倉岡)、栗原和幸(大宮)、児玉麻衣子(住吉)